

日本のジャンル別のCDとダウンロードの購入割合比較

星島 英恵 瀧本 彩加 岡 亜里紗 田辺 彩香 能登 仁美

要旨

現在日本ではダウンロードによる楽曲数が多くなってきていると感じているが、CDの購入割合とパソコンもしくは携帯電話によるダウンロードによる数はどのように違うのかと思い調べることにした。

キーワード：CD，ダウンロード，音楽

1 序論

今日本では携帯音楽機器などが多く普及している。また、携帯音楽機器や携帯電話を利用して曲をダウンロードすることが多くなっているように感じる。よって、音楽CDとダウンロード、どちらを利用している人が多いか探った。

3 仮説の設定と検証

(1) 仮説の設定

【仮説】 携帯音楽機器が普及しているのでダウンロードのほうが多い。

2 アンケート調査と結果

(1) アンケート調査

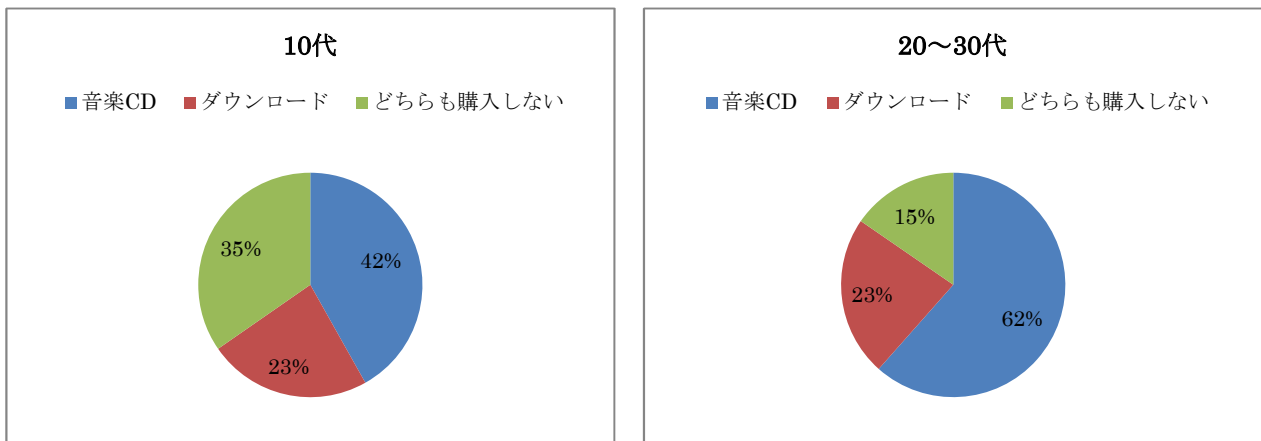
表1にあるような質問についてアンケートを本校第二学年の生徒と職員の先生方、数名の保護者に回答してもらった。

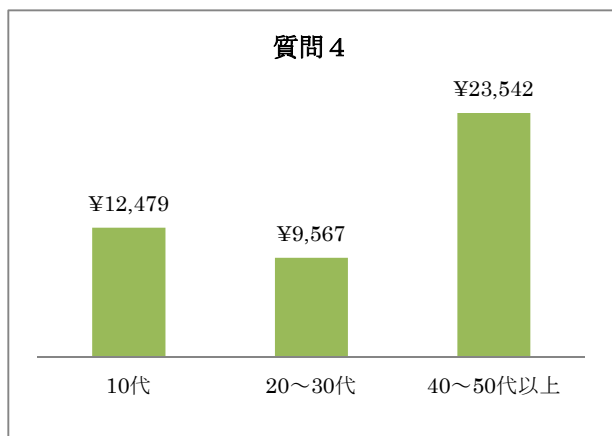
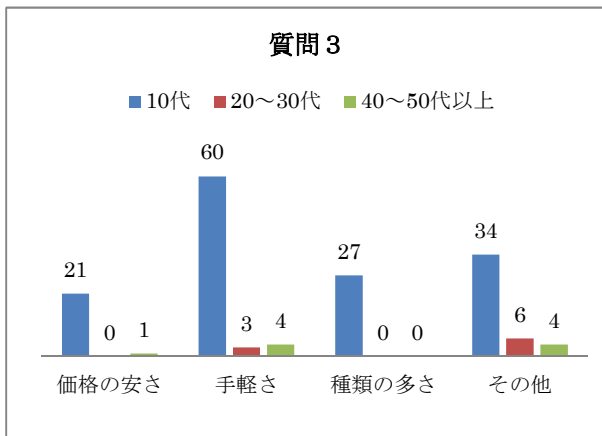
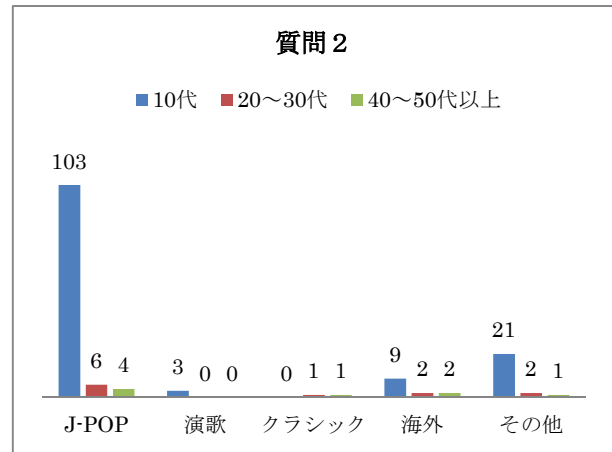
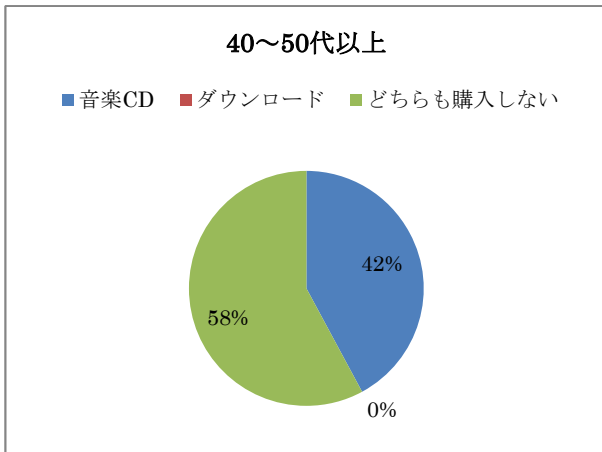
表1 アンケートの質問事項

質問1	音楽CDの購入とダウンロードでの購入はどちらが多いのか
質問2	どのようなジャンルを購入することが多いか
質問3	なぜその方法で購入するのか
質問4	一年でどのくらいのCDもしくはダウンロードを購入するか(金額)

アンケート調査の結果、表1の質問1～4について次のような回答を得た。

アンケートの結果をグラフにしたもの





(2) 結果

グラフ1～4の結果、すべての年代でダウンロードよりも音楽CDを購入する人が多いことがわかった。また、ジャンル別ではJ-POPが最も多い。

4 結論

仮説では携帯音楽機器が普及しているのでダウンロードが多いということだったが、どの年代でもダウンロードよりも音楽CDを購入する人の方が多かった。また、40～50代以上の方はダウンロードを使用する人が0%だった。そして、ジャンル別ではJ-POPの曲を聴く人が最も多かった。

これらの結果から、まず音楽CDを購入する人が多いことに関しては、CDに特典がついていたり、CDそのものを手元に持っておきたいという理由が多数あることから、携帯音楽機器の普及とはほとんど関係がないことがわかる。次に40～50代以上の方がダウンロードを使用していないことに関しては、40～50代以上の多くの人はダウンロードの仕方がわからないという理由が考えられる。このことは、携帯音楽機器の普及と大きく関係していることがわかる。J-POPの曲を聴く人が最も多いことに関しては、J-POPのアーティストが多数いることや身近で聴くことが多いことが考えられる。

* 謝辞

本研究に当たっては、アドバイザーとしてご指導いただいた岡山県立倉敷天城高等学校の山口剛宏先生に感謝いたします。